

この冊子は、「消費者アンケートから導き出したイメージをもとに茅ヶ崎ブランドを考える」というこれまでのブランド形成とは異なる手法にご理解いただいた茅ヶ崎市内の事業者のご協力のもと、試験的に発行したものです。

各ページのタイトルは、それぞれの事業者の取り組みのうち、特に重要なキーワードであり、茅ヶ崎の地の利を活かし、地域に溶け込みながら事業を行っている方々の「想い」を紹介したものです。一見すると情報誌のように見受けられますが、冊子をお読みいただくなかで、皆さまの事業の気づきとなるものを感じ取っていただき、さらなる発展の一助となることを期待しております。

なお、冊子に掲載された事業者について、本市が茅ヶ崎ブランドなどの特定の称号を認定したものではありませんことを申し添えます。

【今回の取組みにおけるブランドアップ戦略の考え方】

「ブランド」とは、単に「売れる商品」のことではなく、地域住民の背景にある、おもてなしの心、自信、笑顔などの「誇り」を感じ取ることができると考えます。

地域住民が誇りを感じて暮らしている地域は、自然と活気が生まれ、周りからの注目を集め、結果として他の地域とは明確に区別された魅力ある地域と言えます。このような魅力ある地域を創るには、「ブランド」を創る人が、地域の「誇り」を意識していることが必要です。

「茅ヶ崎ブランド」という地域ブランドを形成するには、茅ヶ崎の事業者の皆さまが、他の地域ではなく、「茅ヶ崎でなくてはならない特別なもの」を意識していることが重要です。

特にポイントとなるのは、「強制ではなく、ゆるやかな連携を持った個々の事業者の研究と努力」という視点を強く意識することであり、持続力をもって取り組むという点にあると考えます。

これまでもブランド形成については各地で、統一デザインの使用や共通パッケージの作成、あるいはキャラクターの活用など、あらゆる取り組みが行われてきました。しかしながら、このような統一ブランドの確立は、一時の話題にはなりません。持続していくことは非常に困難であることが、多くの先例により示されています。

そして、「茅ヶ崎ブランド」の向上を目指す上で重要なことは、すでに良好な住環境のなか、さまざまなライフスタイルが実践されているという魅力を持つ茅ヶ崎において、これらの魅力を構成している「人材」「素材」「組織」から、「茅ヶ崎ブランド」となりうる要素を導き出し、集約して発信していくことが有効だと考えます。



目次

茅ヶ崎ブランドアップ戦略の考え方

目次

マップ

文化と食と地域のつながりの場を提供する「茅ヶ崎海辺の朝市」

茅ヶ崎の風土と共存しながら地産地消の野菜をつくる「ひらまき園」

茅ヶ崎の太陽を意識した素敵なファッションを提案する「SPORTIFF茅ヶ崎店」

スポーツタイプの原点。湘南のみんなの食堂でありたい「SPORTIFF Cafe」

茅ヶ崎の海を次世代に引き継ぐために「湘南茅ヶ崎サザンビーチサーフハウス」

だれもが仲間のように気軽に楽しめるお店「AMMIN'」

海辺のゆったりとした贅沢な時を味わいに「southern-beach Cafe」

人と自然とともに過ごす、茅ヶ崎の自然なライフスタイル「すずの木カフェ」

ひとりひとりの個性に合わせた自転車選びをお手伝いしたい「CODE BIKE」

洋服を選ぶように自転車を選ぶのが茅ヶ崎流「GARAGE25+」

感覚を研ぎ澄ました商品選びで、上手な暮らしをサポートする「times」

優しくて気さくな人柄はまるでハープのよう「ハープ専門店 EARL GREY」

農業振興地域を活用して社会福祉と茅ヶ崎の特産品づくりに取り組む「温故知新 開工房」

ちいさな幸せがつくるひとのつながり「Plenty's茅ヶ崎 本店」

グローバルな視点で経営に取り組み、多角化農業の観光農園「観光農園 鈴木園」

茅ヶ崎を心から楽しむからこそ茅ヶ崎の良さがわかる「Pain de Nanosh」

肩肘張らない人に優しい人たちが創業80年を支えてきた「久米サイクル」

茅ヶ崎というまちが伝える暮らしのステータス「Cross road」
けして途絶えることのないうねり、打ち寄せる波のように続く想い
「湘南SURF JOURNAL」

自然と触れ合いながらの暮らしができるまち
「湘南シーサイドカントリー倶楽部」

遠方からも訪れたくなる魅力づくり「おさかな横丁 ふじ田」

サーフシティ茅ヶ崎！「GODDESS」

ゆったりと、癒しの時が流れる茅ヶ崎の newName 所「ANT'S Southern-Resort」

茅ヶ崎の暮らしに似合うオンラインワンをもとめて「Cycle Boy」

サーフィンと共に暮らす、茅ヶ崎だけの魅力「Beach Park」

ホスピタリティの高いまちの社交場「LINK茅ヶ崎店」

ひとりひとりのこだわりに応える確かな技術「sashiki」

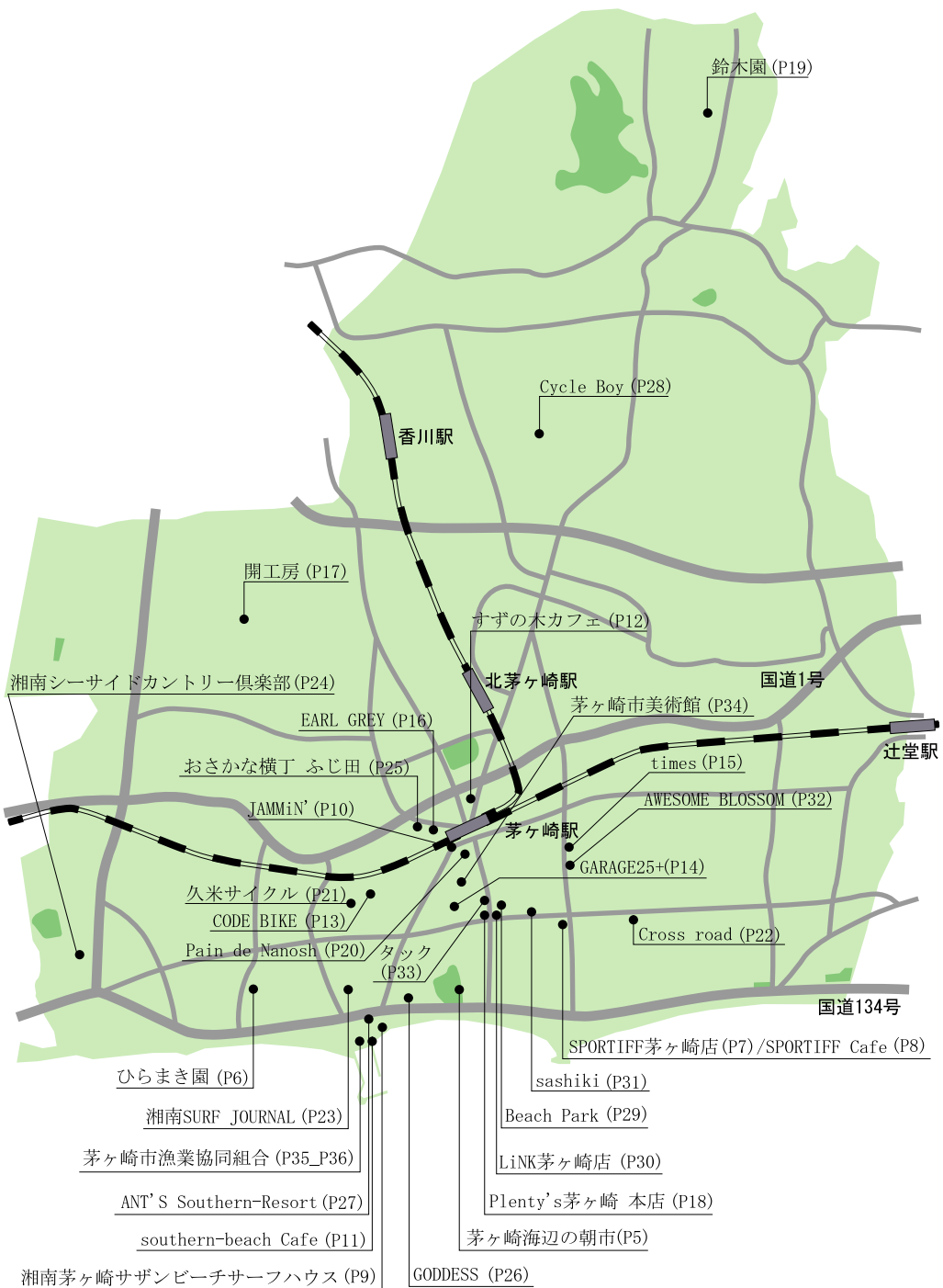
リラックスできる店内と信頼できる技術で人気のネイルサロン
「AWESOME BLOSSOM」

海辺のまちによく似合う雑貨屋さん「タック」

「知」を刺激する海辺の美術館「茅ヶ崎市美術館」

多角的に取り組んでいく茅ヶ崎の漁協「茅ヶ崎市漁業協同組合」

フリーペーパーに関するアンケートのお願い



1. 3代目となる平牧強さん。若いパワーとエネルギーが溢れていました。2. のどかな住宅街の中にある、平牧さんの畑。取材時は美味しそうなキャベツが畑一面に育っていました。



“茅ヶ崎の風土と共存しながら地産地消の野菜をつくる”



自然と生活が折り合う暮らし。こんな何でもないことが今はとても貴重になっています。

茅ヶ崎の海側、柳島にある「ひらまき園」は、茅ヶ崎の風土と共存し守りながら、農家を受け継いでいるのが3代目の平牧強さん。地域の気候風土にあった作物を年間100種類以上も生産しているそうです。

「農業を通じてみなさんとより良い地域文化を創造して、生きていきたいです」と、茅ヶ崎の地産地消、循環型農業の取り組みにも力を入れています。

海も山も楽しみながら仕事をし、サーフィンも好きな強さん



ひらまき園

〒253-0064 茅ヶ崎市柳島2-7-18
TEL : 0467-85-1806

茅ヶ崎海辺の朝市
時間：毎週土曜日 8:00~9:00 (売切れ次第終了)
駐車場：有 (野球場東側駐車場)

1. 海辺の朝市は生産者の方と話せるのも魅力。色々な農家さんから、新鮮でみずみずしい野菜が買えるのはここだけ。2. 人の勢いがとにかく凄い!! 皆さん両手にいっぱい抱えて満足そうです。3. それぞれ栄養価が違う豊富な種類の野菜達。どれもおいしそうです。



“文化と食と地域のつながりの場を提供する”



茅ヶ崎で生まれた農産物を自分の手で消費者に届けたい。そして良さをわかってもらいたい。「海辺の朝市」の代表三橋さんは熱く語ります。

三橋さんたちの活動は、単に農業を活性化するだけでなく、農産物を通して消費者と生産者の繋がりをつくることを目指しています。そのコミュニケーションの中で、生産者は自らを見つめ直すことができ、消費者は農産物に対する知識を深め、食に対する価値観を見つめ直すことができます。

海辺の朝市は、まさに地域の食文化を深める役割を担っています。

「海がもつときれいになって昔の浜に戻ってほしい、農業を通じて還元できれば良い」と考えています。

毎週土曜日、茅ヶ崎の海岸沿いで開かれている「茅ヶ崎海辺の朝市」にも参加しています。

お客様と直接触れ合うことのできる対面販売は、「やりがいがあり楽しい、仕事への意欲が増してくる」そうです。

「海がもつときれいになって昔の浜に戻ってほしい、農業を通じて還元できれば良い」と考えています。

海辺の朝市に集う生産者が、地元消費者の方々とつながりを求めるのは、何よりお互いの地元愛を育む機会だと考えているからにほかなりません。

茅ヶ崎海辺の朝市

〒253-0082 茅ヶ崎市香川7-10-23 (代表：三橋清高さん)
TEL : 0467-51-3445
時間：毎週土曜日 8:00~9:00 (売切れ次第終了)
駐車場：有 (野球場東側駐車場)
URL : <http://umibeno.exblog.jp>

1. 落ち着いたブラウンで、統一されている店内。茅ヶ崎の空気を感じながらゆったりとした時間を過ごせます。2. 季節のフルーツを使ったデザート。3. 茅ヶ崎のお店ではよく見かけるテラス。中庭にあるSPORTIFF Cafeのテラス席なら季節を問わず楽しめます。



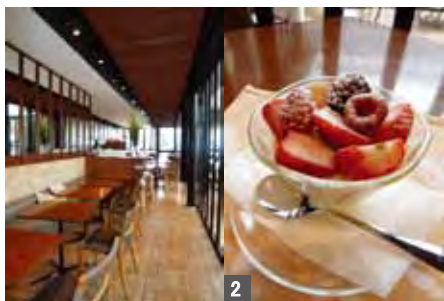
1

“スポーティフの原点。湘南のみんなの食堂でありたい

代表の岩倉さんが80年代にやっていた「Cafe bread & butter」は、当時ミュージシャンやサーファーが集い湘南文化を発信する場所でした。いろんな人が集う場所では面白いものが生まれる。その思いが、SPORTIFF Cafeに受け継がれています。

茅ヶ崎は、これまで色々な新しさを発信してきた場所。そんな場所に人が集まり、人がつながり、茅ヶ崎のライフスタイルが生まれてきたと思います。そんなライフスタイルを楽しんでいる人がたくさんいるところが茅ヶ崎の素敵なところですね。もちろん芸能や音楽関係の有名人を輩出したからという部分もありません。

湘南文化を愛し、発信し続けるSPORTIFFでは、「みんなの食堂」というイメージでこのカフェをつくりました。老若男女いろんな人が集えて、素敵な時間を過ごせるよう、メニューも和食、アジアン、イタリアンと豊富な種類を揃え、インテリアの雰囲気にもこだわりました。



2

SPORTIFF Cafe

〒253-0054 茅ヶ崎市東海岸南2-11-13
 TEL : 0467-87-4511
 FAX : 0467-87-4811
 営業時間 : 11:00~23:00 (last order 22:30)
 定休日 : 年中無休 (年末年始を除く)
 駐車場 : 有
 URL : <http://www.sportiff.co.jp/cafe>

3



1. 大きなドアを開くと「いらっしゃいませ〜」と、さわやかなスタッフさんが迎えてくれます。店内は吹き抜けになっており、とても気持ちの良い空間。
 2. 明るいカラーと多彩なデザインが魅力のスポーティフは、茅ヶ崎人の憧れブランドです。



1

“茅ヶ崎の太陽を意識した素敵なファッションを提案する”



2

茅ヶ崎は、日焼けをするのが好きな人が多い海のまち。そんな茅ヶ崎で創業したSPORTIFFのこだわりは、太陽の光を意識して「色」を決めること。蛍光灯の光だと色が死んでしまうので、色を決める時には皆で外に出て決めて作っているそうです。

もともととは、テニスウェアのブランドで今のBeach Houseの店舗で営業をしていました。当時は近くにテニスコートもあり、土地柄も手伝って馴染みのお客様も多かったようです。そこからトータルコーディネート



の洋服も作るようになり、当時からデザインは斬新で発色の良いものが多かったようです。洋服のプリントは花や海や動物からインスピレーション受けていて、長く愛用してもらえるデザインを意識しています。

なかには、親子3世代のお客様もいらっしゃるようで、「お母さんが買っていて自分も憧れていた」など素敵なお付き合いもあるそうです。

これからも茅ヶ崎ならではのファッションを提案していきたいと思えます。



SPORTIFF茅ヶ崎店

〒253-0054 茅ヶ崎市東海岸南2-11-13
 TEL : 0467-87-0962
 FAX : 0467-87-3692
 営業時間 : 10:00~19:00
 定休日 : 年中無休 (年末年始を除く)
 駐車場 : 有
 URL : <http://www.sportiff.co.jp>

1. 茅ヶ崎南口から徒歩3分。店内は明るくレイアウトも素敵です。女性のグループが多いのもうなずけませう。



“だれもが仲間のように気軽に楽しめるお店”



茅ヶ崎には人と自然、人と人との心をつなぐ力があります。そんなまち、茅ヶ崎を感じられるお店が無国籍庶民料理「JAMMIN'」です。南国風のおいしい料理と楽しいおしゃべりがはずみ、初めて出会ったひとたちも仲間のような雰囲気を楽しめます。

自分の家にみんなが遊びに来て、リビングやキッチンでワイワイできるお店作り、さらに食材も無農薬野菜などにこだわって、茅ヶ崎海辺の朝市にも足を運んでいるそうです。茅ヶ崎の海が大好きなサーファーである新見オーナーのコンセプトがし



つかりと伝わってきました。だからこそ仲間が集う、居心地の良い場所となっているのでしょう。

サーフィン大会後のランチや親睦会、流行の女子会、みんなが気楽に楽しめる場所になっているようです。

そんなお店作りと茅ヶ崎の穏やかな雰囲気、気軽に立ち寄り、仲間と分かち合う楽しい時間や魅力が店内に溢れています。



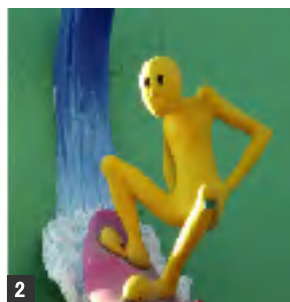
JAMMIN'

〒253-0056 茅ヶ崎市共恵1-1-15
TEL : 0467-57-1129
営業時間 : 11:30~24:00
(ランチ11:30~15:00/夕方17:00~24:00/土・日・祝日11:30~24:00)
定休日 : 無休
駐車場 : 無
URL : [http:// homepage3.nifty.com/jamming/](http://homepage3.nifty.com/jamming/)

1. サーフィンだけでなく、色々なマリンスポーツが楽しめる茅ヶ崎の海。2. シンボルは森オーナーにそっくり。3. 茅ヶ崎グッズも色々取り揃えてあるので、気軽にショップを覗いてくださいとのこと。



“茅ヶ崎の海を次世代に引き継ぐために”



茅ヶ崎で海に一番近いサーフショップ「湘南茅ヶ崎サザンビーチサーフハウス」は、サザンビーチ・サザンCの目の前。ショップ前からは鳥帽子岩がよく見え、茅ヶ崎の持つ自然の素晴らしさを味わうことができます。絶好のロケーションは、訪れる人を包んでくれる心地よさと、心と身体が満たされる風景が広がっていました。

茅ヶ崎の人たちは、年齢にこだわらない自分流のライフスタイルを楽しんでいます。そんな暮らし方が似合う、かっこいい素敵な大人が多いそうです。

オーナーの森さんは「海遊びの素晴らしさ、楽しい時間が過ぎせる茅ヶ崎の海を次世代にバトンタッチするサポートをし



たい。茅ヶ崎サザンビーチに来て良かったね」という満足感を提供したい。そして海と人とのつながりになり、大きな輪になれば、と考えています。

ショップではサーフィンにこだわらず、カヤックやマリンスポーツ全般を扱っており、季節問わず、いつ来ても海を楽しむことができる準備が整っています。



湘南茅ヶ崎サザンビーチサーフハウス

〒253-0055 茅ヶ崎市中海岸3-12986-25
TEL : 0467-58-4794
FAX : 0467-58-4794
営業時間 : 9:00~18:00
定休日 : 毎週火曜日(夏季無休)
駐車場 : 有
URL : <http://www.ssurfh.jp/index.html>

1. 店内にある小さなギャラリーには、地元で活動している作家さん達の素敵な作品が飾ってあります。
2. コーヒー豆は、珈琲工房HORIGUCHIより、新鮮な豆を小まめに仕入れているそうで、ケーキをはじめデザートもすべてお店で手作りしているとのこと。



“人と自然とともに過ごす、茅ヶ崎の自然なライフスタイル”

海も山もある、小さなまち、茅ヶ崎。そんな小さなまちだからこそ、人と人との繋がりを大切にしていきたい、そんな想いをカタチにしている小さなカフェがあります。様々な年齢層の人たちが集いやすいよう、ゆったりとした空間を提供している「すずの木カフェ」。

昔ながらの喫茶店や図書館のような、雨の日にひっそりと過ごしたくなるような空間です。本を読んだり、仕事をしていたり、自分の時間を過ごすため、たくさんの人が訪れています。茅ヶ崎には海をイメージした雰囲気と若い人向けのお店が多い中、静かな音楽と木に囲まれたしっとりとした空間は、茅ヶ崎市民が集う貴重な場所になりつつあるようです。そんな「人との繋がり」を大切にしているカフェだからこそ、「まち」そのものともしっかりと繋がっています。

提供するお料理には、茅ヶ崎の露地で育てた無農薬の野菜を使い、農家の人と直接話した



すずの木カフェ

〒253-0043 茅ヶ崎市元町4-32
 TEL : 0467-82-3411
 営業時間：11:30~18:00 (ランチタイムL.O 14:30)
 定休日：日・月(祝日は営業)
 駐車場：無
 URL : <http://suzunokicafe.com>

り、日々の表情が変わっていく直売所も楽しんで活用しているとの事。

見えない部分でも、しっかりとしたライフスタイルを貫いているオーナーの吉村さん、環境に対しても自分のできることに取り組んでいます。地元のことを地元で食べる、地産地消を意識した仕入れ、お店でつかう洗剤などのセレクトも「環境に優しい」ことへの配慮がうかがえます。こうした、ひと、自然と共存した暮らし方が、茅ヶ崎の魅力をかたち作っているのではないのでしょうか。



1. 茅ヶ崎名物、釜揚げしらすの「海」のペロンチーノ (¥780) が人気。+580円でセットも◎。
2. オープンテラスからの眺めは最高！茅ヶ崎を満喫できます。飲み物やケーキも充実。
3. テラス席はワンちゃんもOK。茅ヶ崎の海にはワンちゃんが良く似合います。

“海辺のゆったりとした贅沢な時を味わいに”



私たちの誰もが、ここちの良い時間と空間を味わいに訪れる場所があります。茅ヶ崎の自然を最大限に満喫できる海も、まさにその場所といえるところで。海辺から見るえぼし岩、これも茅ヶ崎の象徴といえます。もっと茅ヶ崎が好きになるだろう、そんな素敵なカフェがサザンビーチの目の前にある「southern-beach Cafe(サザンビーチカフェ)」です。「海辺の美味しいパスタ屋さん、と呼んでください」と、店長の鈴木さん。海を意識しているという店内に入ると、ゆったりとした時間が流れています。

そして、カフェテラスからの心を満たす風景と、おいしい料理がもたらす沢山の笑顔。訪れた人を大切にしてくれる心地よさを感じてついつい長居をしたくなってしまう。1犬の散歩で毎日来られる方もいますよ」と、犬用のビスケットも置いてあります。そんな気さくなところが茅ヶ崎の人たちの憩いの場所になっているようです。

茅ヶ崎の素晴らしい自然と温和な風土が生む、さわやかな暮らしは、茅ヶ崎ライフスタイルそのものようです。



southern-beach Cafe

〒253-0055 茅ヶ崎市中海岸4-12986 茅ヶ崎迎賓館1F
 TEL : 0467-82-4445
 営業時間：11:00~23:00(ランチ11:00~15:00/L.O 22:00)
 季節により変更有
 定休日：無休
 駐車場：有
 URL : <http://www.tpd-jo.co.jp>

1. タイヤの色もカラフルにできます。茅ヶ崎マンションの1階にある明るいお店です。2. 荷物を運ぶ可愛い自転車リヤカーも貸し出しOK。サドルもカラフル!

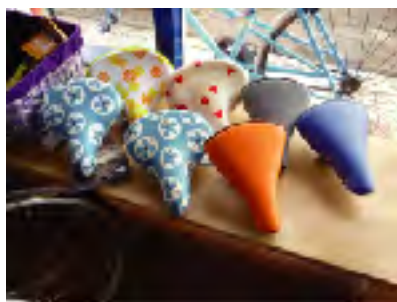


1

“洋服を選ぶように自転車を選ぶのが茅ヶ崎流”



2



「GARAGE25+」は楽しい雑貨屋のような自転車屋さんです。茅ヶ崎では、サーファーや若いママさん達もお洒落で个性的です。自転車に自分流のカスタムをほどこしたり、上手に楽しんでいる方々が多いのも茅ヶ崎ならでは、と代表の岡田さんは話します。

GARAGE25+オリジナル自転車は、タイヤやサドル類も、赤や黄色などカラフルな色を選べて、自分だけのお気に入り自転車を作ることも可能です。毎日乗るなら、洋服を選ぶのと同じように、自分のライフスタイルに合った自転車に乗る。そんな



ところが、茅ヶ崎のまちにふさわしい、茅ヶ崎流の暮らし方と云われるところでしょうか。

環境にも優しく健康にも良い、茅ヶ崎のまちでは、もはや自転車が日常生活には欠かせない乗り物になっているようです。

GARAGE25+

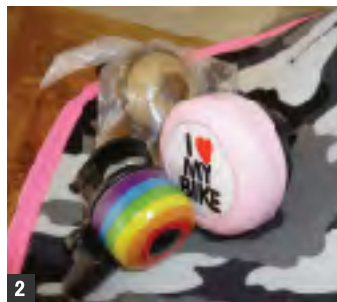
〒253-0055 茅ヶ崎市中海岸2-5-5
TEL : 0467-53-7475
営業時間 : 10:00~20:00
定休日 : 毎週火曜日・第3水曜日
駐車場 : 無
URL : <http://www.garage25.com>

1. 子供の自転車も売れ筋だそうです。2. ベルやサドルカバーなど、カラフルで可愛い小物も色々あり素敵です。3. すごい自転車の数で、見ているだけでも楽しくなりました。



1

“ひとりひとりの個性に合わせた自転車選びをお手伝いしたい”



2



3

澄んだ空気と、すがすがしい風に誘われるまち。日常生活の中で、茅ヶ崎はお洒落で活動的な自転車がよく似合います。茅ヶ崎に新店して8年目になる自転車屋さんで屋号を変えてリニューアルをしました。新しい屋号は、CODE BIKE(コードバイク)です。

野崎オーナーは「チャイルドシートを乗せる自転車も、安全性を考えてしっかりとしたものを選んでほしい」と考え、若いママさんたちに人気のオリジナル自転車を用意しています。また店内には、かわいい自転車グッズやベーシックな自転車からレースタイプの自転車まで幅広く置いてあります。その中から丁

寧に、ひとりひとりに合う自転車を見つけてもらえます。店内には、茅ヶ崎の特徴ともいえるビーチクルーザーや若いママさんたちのカラフルでセンスの良いチャイルドシートの付いた自転車が多く見かけられます。自転車に乗るにも、茅ヶ崎らしいお洒落なもの、人と違う個性的なものが自転車購入の決め手のようです。

日常の暮らしの中で環境にも人にも優しい自転車。茅ヶ崎の海側は平坦で、細い路地が多い。だからこそ自転車が日常生活に欠かせないマストアイテムになっているようです。

CODE BIKE

〒253-0056 茅ヶ崎市共恵1-14-21
TEL : 0467-87-7551
営業時間 : 10:00~19:00
定休日 : 毎週木曜日・毎月第3水曜日
駐車場 : 有
URL : <http://code-bike.jp>



1. 熊谷さん夫妻が営むEARL GREYは茅ヶ崎唯一のハーブ専門店です。一緒に写真に写っている方は毎週金曜日にパンを売りに来るLeeさん。2. 茅ヶ崎美術館の屋外アトリエでハーブガーデンづくりをしているという活動家の熊谷さん。プロジェクトは現在も進行中。3. お店オリジナルの癒しグッズも魅力的。



“優しくて気さくな人柄はまるでハーブのよう”



EARL GREYのオーナーである熊谷さんご夫妻はハーブのプロフェッショナル、そして優しく魅力的なお二人の人柄もあって沢山の人がハーブの相談に訪れます。特に近年は生活の中で感じるストレスが多く、病気を未然に防ぐため、体に負担をかけないために日常的にハーブを取り入れたいという指向が高まっているそうです。

茅ヶ崎に住む人は、環境に優しい暮らし、よりよい生活を望む人が多く、健康志向が高いため自然とハーブに関心が集まるようです。

熊谷さんは、茅ヶ崎の公園に



花を植える市民活動や、ハーブをテーマにした農業振興事業など、自らの知識を活かした支援・教育活動にも積極的に参加されています。色々な活動に参加し、お店に行けばお友達のように気さくに接客してくださる熊谷さん。

ハーブに囲まれた店内で、ハーブにまつわる素敵なお話を聞いているだけで幸せな気分になってくれます。

「自然」を自然と生活に取り入れるライフスタイルの提案は、まさに環境にも人にも優しい茅ヶ崎の魅力です。

ハーブ専門店 EARL GREY

〒253-0044 茅ヶ崎市新栄町1-13
 TEL : 0467-82-6485
 FAX : 0467-82-6485
 営業時間：11:00～18:30
 定休日：日曜日
 駐車場：有
 URL : <http://www.earl.co.jp>



1. 店内には色々な動物のリサラーソンの作品が置かれています。2. 家の中を明るく楽しくしてくれる北欧アイテムが揃っています。長く大切に使用していきたい「良いもの」がここにはたくさんあります。

“感覚を研ぎ澄ました商品選びで、上手な暮らしをサポートする”



「選ぶときにそれが本当に好きで選ぶならいい。生意気な言い方をすると誰かに合わせようという感覚はあまりない。商品を手ヨイスする基準は自分。自分を中心とする回りの人。奥さんにカップのプレゼントを贈る時、彼女にストールをプレゼントする時、どんなものを使っ

てほしいか。例えば自分が家を建てた時リビングには「こんなものを置きたいな、というのが究極の選び方のポイント。まずは自分、それから周りを見る。」timesのオーナー中嶋さんの商品選びは明快です。

北欧関係の雑貨を始めたのは、親戚のいるデンマークの暮らしぶりを見ていて「いいなあ」と思うようになったのがきっかけ。もの見方が広がり、暮らし方が上手だなと思ったそうです。



まく言えないけど、生活をちゃんと見つめているというような感じがある」と、話す中嶋さん。地元の人にも受け入れられる提案をしないとダメだと強く思ったのだそうです。

地元大好きな茅ヶ崎の人、茅ヶ崎で真剣に買い物をする人たちに受け入れてもらえるよう、「生活の意識が高い人に認めてもらえるようなお店になりたい」と努力を続けています。

「茅ヶ崎の人の目は厳しい。だから茅ヶ崎にお店を出せて良かった。茅ヶ崎で、認められればどこに行っても大丈夫かな」と、話していました。

times

〒253-0053 茅ヶ崎市東海岸北4-5-51
 TEL : 0467-38-7200
 FAX : 0467-38-7201
 営業時間：11:00～19:00 (季節により変更有り)
 定休日：水曜日 (夏期・冬期の連休有り)
 駐車場：有
 URL : <http://www.times-net.jp>



1. ポップでアメリカンな雰囲気の店内。壁をよ〜く見ると地元の子供の成長記録が。「一緒に成長している」とオーナーの長谷川さん。2. いつもの暮らしの中で見つけた小さな幸せ。元氣や明るい気持ちにしてくれるものです。



“ちいさな幸せがつくるひとのつながり”



元氣で楽しい気持ちにしてくれる店内には、馴染みのお客さ

す。
かつこいいものや、流行を追ったものを求めるわけでもなく、自然や環境を大切にしながら、優先されている所が茅ヶ崎の良さだと、Plenty'sのオーナー長谷川さんは話します。茅ヶ崎でお店を始めた理由も「アイスクリームを食べ歩きしていても叱られないまち」と感じたからだそうです。
長谷川さんは、小さい時からアイスクリームが大好きで、アイスを食べていると不思議と色々な人とコミュニケーションが出来た思い出がありました。茅ヶ崎でも子供達の集まる場所が少なくなってきたおりPlenty'sは子供が楽しく安心して来られる場所にしたい、と考えたそうです。

茅ヶ崎は、海沿いの暮らしに憧れて移り住んだ人と、生まれも育ちも茅ヶ崎という人が、うまくミックスされたまちだと思います。そんなまちのコミュニケーションスペースとして、ちいさな幸せを提供してくれる素敵なアイスクリーム屋さんです。



Plenty's茅ヶ崎 本店

〒253-0053 茅ヶ崎市東海岸北1-7-23 1F
TEL : 0467-88-0013
FAX : 0467-88-0013
営業時間：10:00～21:00(※ただし夏季の7・8月は夜22:00まで営業)
定休日：月曜日(祝日の場合翌火曜休 ※ただし夏季の7・8月は無休で営業)
駐車場：有
URL : <http://www.plentys.net/icecream/shop.html>

1. 萩園の農業振興地。空が広く景色が良く、富士山と大山が並んで見られます。ブルーベリーは「プライトウェル」という品種。みずみずしくて美味しいです。2. 障がいがあってもなくても、みんなが楽しく働ける場所です。



“農業振興地域を活用して社会福祉と茅ヶ崎の特産品づくりに取り組む”

茅ヶ崎市で本格的にブルーベリー栽培をしている開工房。2008年に2年生の苗木を約500本定植して始めました。農業後継者不足解消のためハンディのある人の力を借りながら、ここ茅ヶ崎に農業を通して新たな特産品を作り、地域を活性化したいと思ったことがきっかけです。障がい者への理解がある地主さんと知り合うことができ、運営母体は地主さん、その作業を開工房が委託を受けるという形で始めました。
しかし、実際に農業を始めるのと農家さんの苦労が身に染みまします。ここ茅ヶ崎の気候に合う品種の選定に苦労し、生育の早いバック栽培を導入したのですが、天候に左右されながら思ったように収量が上がりません。最近では栽培方法にも慣れ品種による栽培特性も分かり、先の見通しがつくようになってきました。また、日本では珍しいブルーベリーを、品種別に取り揃えています。イチゴのように品種によって食味が異なり、今後は



品種別にファンを増やしていきたいと思っています。
商品は、生果、ジャム、冷凍果実、苗木の販売。すべて品種別の展開としています。販路は観光摘み取り園、直売、市内総合スーパー、市内飲食店。珍しいバック栽培の利点を生かし、たわわに実ったブルーベリーの木を小売店内に持ち込み、直に摘み取り体験をしていただきながら商品を販売しています。
実際にブルーベリーが生つているところを見る消費者はまだ少なく、非常に喜ばれているそうです。

開工房は、小さな工夫の積み



温故知新 開工房

〒253-0071 茅ヶ崎市萩園3625 (農園)
〒253-0085 茅ヶ崎市矢畑4-11 (事務所)
TEL : 090-5202-1448
FAX : 0467-59-4199
営業時間：9:00～17:00頃まで
(お電話でご確認のうえお越し下さい)
定休日：シーズン中は無休(5月下旬～8月上旬)
駐車場：有(農園敷地内)
URL : <http://kaikoubou.com/>

重ねて地域を活性化し、社会貢献も行う素敵な農園です。

1. 満員の店内。お昼の時間に限らず、お客さんが続々とNanoshに入っていきます。2. 地域の有名物産品「たみ鯛」を使って作ったパン。色々アレンジをして食べると、さらに美味しいのだそう。



“茅ヶ崎を心から楽しむからこそ茅ヶ崎の良さがわかる”



「いつも海を感じていたい」そんな地を探し求めて人々は茅ヶ崎に集まってきました。「海やサーフィンが好きで、この地でお店を開きました」なんて言う人も多いのではないのでしょうか。Nanoshのオーナー関谷さんもその中の一人です。仕事が終わり、時間があれば、そのまま海へサーフィンに出かけていける。これが茅ヶ崎の最大の魅力だそうです。

茅ヶ崎には、若いお母さん達がヨガマットを持って歩いていたり、さわやかな柄のファッションを楽しんでいたりと、海辺ならではの生活を楽しむスタイル



ルがあるようだと感じているそうです。暖かい季節になればパーティーやバーベキューを楽しむ人が多いというのもうなずけます。

種類が豊富なNanoshのパンはそんな人たちにとっても好評で、色々なパーティースタイルに合わせて活用されているようです。

茅ヶ崎を心から楽しんでいる関谷さんだからこそ、茅ヶ崎に住む人の求めるものが分かるのだと思います。ご自身が茅ヶ崎の環境を楽しんでいるだけに、茅ヶ崎を楽しみたい人々の気持ちに分かるのかもしれない。



Pain de Nanosh

〒253-0056 茅ヶ崎市共恵1-3-14 ライオンズプラザ茅ヶ崎駅前101
 TEL : 0467-86-8757
 FAX : 0467-86-8757
 営業時間：月～金8:00～19:00 土日祝7:00～18:00
 定休日：不定休
 駐車場：有
 URL : <http://www.shonan-windy.com/nanosh/>



1. どこよりも早い情報収集と豊富な知識を持たれている鈴木さん。お話をしているととても楽しく、気さくな人柄でした。2. 地元の幼稚園生の味覚狩りの様子。こういった経験が出来る環境が残っているのも大切な事です。

“グローバルな視点で経営に取り組む、多角化農業の観光農園”

茅ヶ崎の駅前にはビルが立ち並んでいます。北部にはまだまじ自然が多く残っています。茅ヶ崎の里山の風景、一面田んぼや畑が広がる広大な土地。そこで農業を営み生計を立てて暮らす人々。そんな、茅ヶ崎に残る豊かな自然の中で人の手によって、美味しい茅ヶ崎産の野菜や果物は育てられています。

しかし農業を取り巻く環境は厳しく独立採算は難しいのが現実です。「都市型農業には魅力がある」と語るのは、観光農園を営む鈴木さん。時間がある時は果物の説明や、料理方法まで教えるサービスピース精神の持ち主です。健全な農業経営のために、情報化社会に目をつけ、早くからホームページを開設するなどグローバルな視点でしっかりと茅ヶ崎の農業をアピールしてきました。



識をもつてないといけない」と思い、果物の栄養から始め、野菜の事まで幅広く勉強したそうです。今では、野菜と食育ソムリエの資格を取得しています。

子供には子供へ、優しい話をする。美味しい果物の見分け方や、季節感のある話も聞ける。レシビも配っている。柔軟な対応力が求められている時代だからこそ、常に勉強していかないと飽きられてしまう。色々な事に常に興味を持つという姿勢が大切です。



観光農園 鈴木園

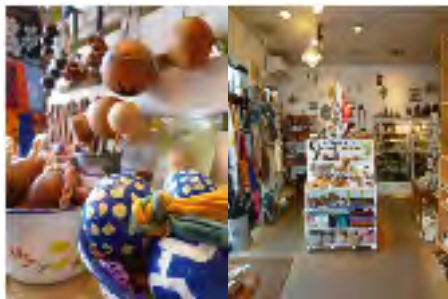
〒253-0008 茅ヶ崎市芹沢308
 TEL : 0467-51-0283
 FAX : 0467-40-5639
 営業時間：10:00～15:00
 定休日：期間中は無休。収穫時期によっては休園となる日があります。
 お電話でご確認のうえお越しください。
 駐車場：有(無料)
 URL : <http://www.suzukien.com>

1. ひょうたん楽器はオーナーお手製のもの。アフリカの楽器をもとに作っているそうです。ひょうたんスピーカーは平塚在住のアーティスト作。誰でも楽しめる楽器は、リラックスグッズとしても良いそう。



1

“茅ヶ崎というまちが伝える暮らしのステータス”



Cross road

〒253-0025 茅ヶ崎市松ヶ丘2-8-42
 TEL : 0467-58-9426
 営業時間 : 11:30~18:30
 定休日 : 不定休
 駐車場 : 無
 URL : <http://www.crossroad-chigasaki.com>

伝統や格式がある鎌倉や大磯と比べ、茅ヶ崎は気兼ねなく過せる場所。けれど、茅ヶ崎に移住してくる都会の人達はハッキリとした自分なりの価値観を持ち、質の良いものを知っています。「ビーチサンダルでちょっとギヤラリーへ出かけ、気に入ればたとえ無名のアーティストの作品でも、サラッと買ってしまふ」そんなスタイルも茅ヶ崎のかっこいい一面でしょう。「Cross road」は雑貨屋ですが、アーティスト達に交流拠点の場を提供したい、という思いもありオープンしました。オ

ナーの高崎さんは市民ギャラリーや美術館でアートイベントを主催するなどの経歴を持っており、「現代アートと子供の自由な表現は根底に同じものを感じる所がある」と、様々なワークショップなどを開催してきました。店内には、サーフィンが趣味のオーナーが海外で出会った品々や地元作家の作品が置かれています。オーナーお手製の「ひょうたん楽器」はとっても個性的で癒し系な音を奏でるので、お客さんからの人気も高いそうです。月に1回程度開催し

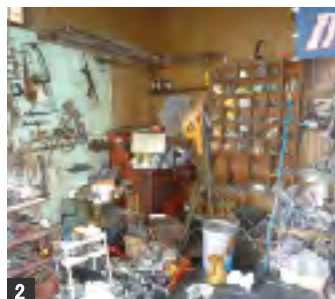
ているワークショップで作り方や鳴らし方を習うこともできます。こうして、生活の中にさらりとアートや音楽を取り入れられる環境にあるのも、ある種の茅ヶ崎で暮らすステータスなのかもしれません。

1. 入りやすいまちの自転車さん、気軽に挨拶してくれます。店内はママチャリが多く身長に合わせて選ぶとよいそうです。2. 工具や部品の種類も多く、ちょっとした工場のような。どんなトラブルでも対応してくれそうです。3. 壁一面には感謝状や表彰状がたくさん! 「茅ヶ崎大好き」がよく伝わってきます。



1

“肩肘張らない人に優しい人たちが創業80年を支えてきた”



2



3

「自転車のまち、茅ヶ崎」といわれる程、茅ヶ崎での生活に密着している自転車。自転車のキャリアにサーフボードを乗せて海へ向かう人、前にも後ろにも子どもを乗せてパワフルに走っているママ。茅ヶ崎の人と自転車は、きつてもきれいな存在だからこそ、自転車屋さんも大切な存在です。創業80年。2代目となる和一郎さんも自転車屋になって57年の「久米サイクル」は、まさに「まちの自転車屋さん」。オーナーは、自転車商協同組合の組合長さんでもあり、本当に自転車と茅ヶ崎の人が大好き。自転車の修理に来て話が弾み、ついつい長居してしまう、

という光景は当たり前だろう。そんな「空気」が、まさに茅ヶ崎らしい。「茅ヶ崎は気持ちが良い人ばかり。そして人柄は良い人ばかり。それが一番。」という和一郎さん。肩肘張らない、人に優しいまちの自転車屋さん、環境にやさしい乗り物、自転車。時間がゆっくりと過ぎて行くような店内の壁には、感謝状や表彰がたくさん飾られていて、茅ヶ崎で生まれ育ったオーナーのまちと人に対する愛情がしっかりと感じられる素敵なまちの自転車屋さんです。

久米サイクル

〒253-0056 茅ヶ崎市共恵1-16-3
 TEL : 0467-82-2409
 FAX : 0467-82-2409
 営業時間 : 9:00~19:00
 定休日 : 毎週火曜日
 駐車場 : 無





1. 素晴らしい風景の中でのプレーは大満足。2. クラブハウス内はどこも広々としており、心も身体もほっとします。レストランでは「湘南しらす丼」がおススメです。



1

“自然と触れ合いながらの暮らしができるまち”

茅ヶ崎の自然を維持し海と山との共存、かつ茅ヶ崎であるからこそ守られてきた風景とは、どういう事なのか、それを教えてくれる場所があります。

1967年創業の老舗「湘南シーサイドカントリー倶楽部」です。茅ヶ崎の海側は平らな地形が多いので、それを生かしゴルフファーの方たちがカートを使わず、歩いてプレーをすることができます。これだけの地形に恵まれているのは、神奈川で3か所だけだそうです。また、創業当時から茅ヶ崎の素晴らしい景観を意識して植樹を続けており、その景観は見事としか言いようがありません。

クラブハウスを一步中に入ると、広々としたロビーやレストランから一望できる緑の芝生や富士山の素晴らしい風景に、こころも体も癒されます。「プレーをする方々だけではなく、是非一般の方々にも気軽にレストランに食事に来ていただきたい」とのこと。周りに住宅地が多いため、地域の安全性や景観には



2



湘南シーサイドカントリー倶楽部

〒253-0073 茅ヶ崎市中島1567
TEL : 0467-82-7111
FAX : 0467-82-7116
営業時間：随時（季節ごとのプレー時間に応じて）
定休日：1月1日・8月末日
駐車場：有
URL : <http://www.shonanseaside.com/>



1

1. 湘南SURF JOURNALの宇賀治さん。温和なお人柄でお話は尽きませんでした。2. みなさんも一度は見たことがあるフリーペーパーだと思います。

“けして途絶えることのないうねり、打ち寄せる波のように続く想い”

湘南が大好きだからこそ、湘南からの「うねり」を伝えていきたい。そんな想いをさわやかな誌面に乗せて伝えているフリーマガジンがあります。それが「湘南SURF JOURNAL」です。

フリーマガジンは数あれども、これだけ編集者の地域への「愛情」が伝わってくるものもそう多くはありません。「湘南SURF JOURNAL」の作り手である宇賀治さんもまた、この茅ヶ崎に暮らし、湘南ライフを謳歌しているからこそ「想いを伝える」という事に對して貪欲なのでしょう。実際、誌面を作る時の取材でも、オープンで気取らない、個人的な人たちとの出会いがたくさんの繋がりや、あたたかさを感じているそうです。

また、「湘南からの「うねり」」を伝える、という意味でも、誌面では様々な業種の人たちと対談を行なっています。取り上げられる側と取りあげる側、双方

が独自のライフスタイルを持ち、お互いの地元に対する想いを語っている。そんな記事はどれも深く、無駄がありません。「大人のかっこよさ」が表現されている。まさに宇賀治さんの思う茅ヶ崎や湘南が、自身の目線で伝えられています。

フリーペーパーというツールを使って、毎号、魅力的な人やスポットなど湘南の「カケラ」を届け続けることが、当初から思い描いていた「湘南からのうねり（うねり）」となっていくのでしょうか。



2

湘南SURF JOURNAL

〒253-0055 茅ヶ崎市中海岸4-15-53
TEL : 0467-98-2770
URL : <http://www.shonan-sj.com>

1. イケメン息子の店長さん。2. 円形の中に人という象形文字で分けたオリジナルロゴマーク。赤=太陽、緑=自然、青=海を表現し、全体として調和(平和)という意味だそうです。3. ミニチュアのサーフボードも作っています。とっても素敵ですよ！



“サーフシティ茅ヶ崎！”

茅ヶ崎には28軒のサーフショップがあります。各市でもこれだけのサーフショップがあるのは珍しく、まさに「サーフシティ茅ヶ崎」と呼ばれるのがわかります。

そして、茅ヶ崎を代表するサーフショップ「GODDESS」は、茅ヶ崎のサーフポイント目の前。鈴木オーナーは「茅ヶ崎のショップに来た方々と、色々話をして豊かな気持ちになって、気持ち良く帰って頂く、これが一番大切な僕の役目」と心がけているそうです。

茅ヶ崎の肩肘を張らない、気持ちの良い暮らしは、茅ヶ崎を訪れた方なら誰もが感じ取れるところ。仲間と分かち合う楽しい時間、そんな気ままな人たち



との、ひと時が心の豊かさとするローな茅ヶ崎の暮らしを生み出しているようです。

「茅ヶ崎っていいよね〜」という人たちが多いのは、きっと他とは違う人とのつながり、そして茅ヶ崎ならではの自然や空気のせいでしょうか。茅ヶ崎最初のサーフショップと言う事で「茅ヶ崎＝GODDESS」というイメージの責任感。

「大好きな茅ヶ崎海岸の浸食を、食い止める事は難しいけれど、遅らせることはできる」の信念で、鈴木オーナーは忙しく飛び回っていました。

GODDESS -Goddess international CO.LTD-

〒253-0055 茅ヶ崎市中海岸3-9-20
 TEL : 0467-86-1173
 FAX : 0467-87-4653
 営業時間：春・夏・秋9:00～19:00 土日祝8:00～19:00
 冬10:00～18:00 土日祝9:00～18:00
 定休日：毎週火曜日(季節によって変更有)
 駐車場：有
 URL : <http://www.goddess.co.jp>



1. 店内は落ち着いた雰囲気、ゆっくりとお料理が楽しめます。2. 漁港にあるお店をイメージした入り口には、お客さんの楽しそうな写真が飾られています。3. ボリューム満点のセットは女性に人気。



“遠方からも訪れたいくなる魅力づくり”

茅ヶ崎には、ローカルな暮らしに憧れ、多くの人が移り住んできます。「海辺の暮らしに憧れて…」といった話もよく聞きますが、茅ヶ崎は海も山もあり一年を通して豊かな自然と気候が良いところが魅力かな、とオーナーの伊藤さんは話します。

「茅ヶ崎の人は、性格がさっぱりとしていて、いつも本音で話ができる所が良いね」と、お店を通して出会った人達の印象を話してくれました。そんな茅ヶ崎人たちに隠れ家のような場所を提供したかった。一見さんのお客さんを相手にするおし離れた場所に店を持つことにし



たそうです。今でこそ、隠れ家のようなお店が流行っていますが、おさかな横丁ふじ田はその先駆けといえるでしょう。

そんな居心地のよい雰囲気のお店には、遠方からのお客さんが多いのだと聞きました。地元の人達だけではなく「茅ヶ崎」という地名を最大限に活かして遠方からも足を運んでもらえるお店が、重要な存在になってくると伊藤さんは考えています。

そして今後、こうしたお店が増えていく事で、茅ヶ崎の魅力がもっと外に伝わり、更に魅力的なまちになっていくのではないのでしょうか。



おさかな横丁 ふじ田

〒253-0045 茅ヶ崎市十間坂1-4-3
 TEL : 0467-88-3536
 営業時間：ランチ11:30～14:00(L.O 13:45)
 ディナー17:00～22:00(L.O 21:30)
 定休日：月曜日
 駐車場：有





1

1.フルオーダーの自転車はやはり快適!2.1年前に甘沼に移転してきたそうです。店内には既製品の自転車はなく、まさに自転車工房でした。



1

1.潮の音が聞こえる店内は心地いいBGM、パリのお香の香り、日常を忘れるほどのリゾート空間。どこかしこも清潔で心も癒されます。

“茅ヶ崎の暮らしに似合うオンリーワンをもとめて”



2

茅ヶ崎のライフスタイルにフィットする。「Cycle Boy」は、そんなフルオーダーに対応できる貴重な自転車屋さんです。

オーナーの谷さんは、茅ヶ崎のライフスタイルをとっても大切にしています。生活をエンジョイしている茅ヶ崎の人たち、こころが軽くなる時を味わえる自転車をお客様といっしょに作りたいと考えています。

「Cycle Boy」では、オンリーワンの自転車を目指して、使う人のイメージに合う自転車をコーディネートしてもらえます。



古いベルやブザー、皮のサドル、大小のタイヤなど。お客様と顔を合わせ言葉を交わしながら、デザインを進めます。

普段使うものだからこそ、自分にあったものが大切です。お気に入りの自転車に乗って、茅ヶ崎のライフスタイルを満喫することができます。



Cycle Boy
 〒253-0004 茅ヶ崎市甘沼1185-1
 TEL : 0467-67-6494
 FAX : 0467-67-6494
 営業時間 : 11:00~18:00
 定休日 : 日曜日・月曜日・火曜日
 駐車場 : 有
 URL : <http://www.k4.dion.ne.jp/~cycleboy/>

“ゆったりと、癒しの時が流れる茅ヶ崎の新名所”



「ANT'S Southern-Resort」は、「光・香・音・五感を満たす。女性365日美しく、男性はよりお洒落に」と、お店のこだわりを話す店長の倉内さん。

ANT'S Southern-Resortは、全面オーシャンビューのトータルビュティティー・リゾートサロンです。ヘアー・ネイル・エステ・アロマなど、指先から足の先までキレイに。そして内面からも美しくなれる場所です。

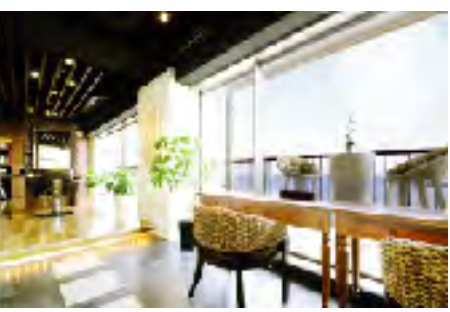
お店に入ると目の前に広がる青い海、青い空、そして烏帽子岩への眺め、開放的で素晴らしいロケーションに圧倒されてし



まいます。

遠く波の音を聞きながら、海を眺め、静かにゆっくりした時間を過ごす。夕方のサンセットタイムも素敵です。まるで茅ヶ崎の自然をひとり占めしているかのような錯覚に陥ります。

日常から解放され、心も身体もリラックス。そんな、茅ヶ崎のロケーションを最大限に活かしたお店づくりに感心しました。



ANT'S Southern-Resort
 〒253-0055 茅ヶ崎市海岸4-12986-5 サザンビーチビルズ6F
 TEL : 0120-970-016
 営業時間 : 平日10:30~20:00/土日祝 9:00~19:00
 定休日 : 火曜日・第3月曜日
 駐車場 : 有(お電話でご確認下さい)
 URL : www.ants10.com

1. 女性だけのスタッフなので気軽にお話ができます。前列右が店長の仁平さん、みなさん笑顔が素敵です。2. 店内も気持ちよく時間が過ごせるようにと、季節に合わせて植木替えもしているそうです。3. シンプルでモダンな外装、細やかな気配りが感じられます。



1

1. 親しみやすく気さくなオーナー夫妻。2. サーフボードは、板から全てオリジナルで作っているそうです。デザインもかなり豊富!オリジナルのロゴマークが入ったボードもあります。3. ハワイから直輸入の水着は素敵です。



1

“ホスピタリティの高いまちの社交場”



2

日常の暮らしの中で、自由でお気に入りの場所を持つことは大切です。茅ヶ崎の鉄砲通り沿いにある美容室「LINK」は、そんな場所になることを目指しています。

お店の中にある小さな花壇には四季折々の花が咲き、来店される方が気持ちのよいように配慮しています。店内もシンプルで、明るく軽やかな音楽が流れており、ホスピタリティも充実しています。

スタッフも気さくな方が多く、初対面でもすぐに打ち解けられる、そんな安心感があります。店長の仁平さんは、茅ヶ崎のお



3

客さんは、流行に敏感で、さわやかで楽しい暮らしを意識している人が多いと感じており、ライフ&ビューティーをヘアスタイルのコンセプトにしています。

そんな努力があつてか、若いママさんたちの社交場となっているようです。それぞれが、思い思いの茅ヶ崎の暮らしを楽しんでいます。

LINK茅ヶ崎店

〒253-0053 茅ヶ崎市東海岸北2-4-55 1F
TEL : 0467-84-1010
営業時間 : 10:00~19:00
定休日 : 年中無休
駐車場 : 有
URL : <http://www.link-link-link.net>



“サーフィンと共にある暮らし、茅ヶ崎だけの魅力”



2

「茅ヶ崎は、年齢を気にしないで楽しめる街ですね。みんな個性を認めあい自分の楽しみをもっている。夏は海、パンにサンダルで歩いていて、平気で水着のまま海へ行ける。周囲の目を気にしないところ。そんな中でも自分を主張している人が多い気がする。島暮らしのような感じかな。」Beach Parkのオーナー伏見さんは茅ヶ崎についてこう語ります。

そんな茅ヶ崎にお店を出して20年。昔はサーフショップで洋服などは扱っていなかったのですが、Beach Parkでは、最初からサーフィングッズと一緒に海辺の暮らしに似合う洋服や水着をおいて、海を楽しむためのファッションスタイルを提案してきました。

夏になると、観光客で賑わい



3

雰囲気、ガラリと変わる茅ヶ崎。かわいいうちファッションで海へ向う女性達や、海パンとビーチサンダルでカジュアルに歩いている男性の姿が垣間見られます。そんな海辺の暮らしならではの光景が、茅ヶ崎の日常生活の中から感じられます。

こうした理由も茅ヶ崎に住みたくなる一つなのかもしれません。Beach Parkはこれからも茅ヶ崎の新しい海辺のファッションを提案し続けてくれるお店となるでしょう。



Beach Park

〒253-0053 茅ヶ崎市東海岸北2-4-55 エスペランザ101
TEL : 0467-58-2399
FAX : 0467-58-2655
営業時間 : 10:00~19:00
定休日 : 木曜日
駐車場 : 有
URL : <http://www.beachpark1978.com/>

1. 店内は無駄なものではなくオーナー原さんのセンスが光ります。何とも言えないこち良い雰囲気の中での施術は、気持ちも落ち着きます。2. 女性にとって魅力的なのはネイルの豊富な種類。仕事も遊びも楽しくさせてくれます。



“リラックスできる店内と信頼できる技術で人気のネイルサロン”



茅ヶ崎の温暖で開放的な風土を意識した店内は、シンプルであたたかい木のぬくもりが感じられ、ゆるやかな光が差し込む店内は清潔感と安心

「AWESOME BLOSSOM」は高い質のサービスを目指すネイルサロンです。お店に入ると「こんにちは」と、スタッフの皆さんが気持ちの良い笑顔で迎えてくれます。代表の原さんは、「ハッピー&ビューティー」性別に関係なくお客様に心地良く関わっていただきたい。思い思いの個性を楽しんでもらえたいと考えています。



感があり、リラックスできる配慮が感じられます。施術者が全員資格保持者という高いクオリティと安心感が、心も身体も癒してくれます。「AWESOME BLOSSOM」は、JNA日本ネイリスト協会認定サロンです。

AWESOME BLOSSOM

〒253-0053 茅ヶ崎市東海岸北2-1-39 1F
TEL : 0467-85-3765
FAX : 0467-85-3765
営業時間 : 10:00~20:00
定休日 : 不定休
駐車場 : 有
URL : <http://awesomeblossom-nail.com>



1. ストローハットの帽子がセンスよくおいてあります。2. 帽子の木型。これを元にサイズやデザインを考えていきます。年配の方に人気があるそうで、お洒落で上品です。3. 可愛い子供用の帽子は、作る時から楽しいのだそう。



“ひとりひとりのこだわりに応える確かな技術”



茅ヶ崎の鉄砲通り沿いにある帽子専門店「sashiki」は、ガラス越しに帽子が見えるシンプルでかわいいお店。オーナーの確かな技術でつくられる帽子は、細かなところまでこだわりがあり、ひとつひとつが丁寧で繊細です。帽子が前に出すぎる事なく頭になじみ、なおかつ日常にとけ込んでいる。そんなところが茅ヶ崎のまちのライフスタイルによく似合っています。茅ヶ崎の方は、人に左右されることなく、それぞれが自分のライフスタイルにこだわりの持っている。そんなこだわりの



あるお客様は、オーダーをする事も可能。同じ型の帽子でも素材の選び方や色の合わせ方で常に新しいものを提供しています。出来上がった帽子に触れると、「二生、大事に大切にしてください」という気持ちにさせてくれます。もちろん既製の帽子もあるけれど、自分に合わせたサイズで自分だけのこだわりの帽子を作ってもらおう。それは、自分だけのお気に入りとなり、茅ヶ崎の四季折々も楽しく「過」せようです。

sashiki

〒253-0053 茅ヶ崎市東海岸北2-12-35
TEL : 0467-28-8108
営業時間 : 12:00~19:00
定休日 : 月曜日・火曜日
駐車場 : 無
URL : <http://www.sashiki-hat.com>





“「知」を刺激する海辺の美術館”

茅ヶ崎は、海岸の暮らしを個性豊かに楽しみ、日常を大切に生活している方が多いまちだと感じる」と、タック店長の佐藤さんは話します。

そのため、タックでは毎日使えて、インテリアになりそうなものを提案しています。店頭にもないものでもイメージを伺って取り揃えることもよくあるそうです。相談してみるのも◎。

店内はところ狭しと雑貨が並んでいて、ワクワクして時間が経つのも忘れてしまいます。

一中通りにある姉妹店のカフェレストラン「パシフィックデリ」の食器・照明・家具など



茅ヶ崎市美術館

〒253-0053 茅ヶ崎市東海岸北1-4-45
TEL : 0467-88-1177
開館時間 : 10:00~18:00(4月~10月の入館は17:30まで)
10:00~17:00(11月~3月の入館は16:30まで)
定休日 : 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始(12月28日~1月3日)
駐車場 : 有
URL : <http://www.chigasaki-arts.jp/museum>



1. シンプルでカラフルなカップは見るだけで楽しくなってきました。2. 店頭は季節に合わせての品揃えも豊富。パケツも希望の色や形、大きさが見つかりそうです。

“海辺のまちによく似合う雑貨屋さん”



「茅ヶ崎は、海岸の暮らしを個性豊かに楽しみ、日常を大切に生活している方が多いまちだと感じる」と、タック店長の佐藤さんは話します。

そのため、タックでは毎日使えて、インテリアになりそうなものを提案しています。店頭にもないものでもイメージを伺って取り揃えることもよくあるそうです。相談してみるのも◎。

店内はところ狭しと雑貨が並んでいて、ワクワクして時間が経つのも忘れてしまいます。

一中通りにある姉妹店のカフェレストラン「パシフィックデリ」の食器・照明・家具など



は、タックで手配しているものばかりです。使い勝手や耐久性が実際にチェックできるので、訪れてみるのもいいかもしれません。タックは、生活に嬉しいスパイスになりそうなものが見つかる、そんなお店です。

タック

〒253-0053 茅ヶ崎市東海岸北1-7-21
TEL : 0467-84-0507
営業時間 : 11:00~19:00
定休日 : 毎週火曜日
駐車場 : 無
URL : <http://www.takk.co.jp>

3. 茅ヶ崎で毎年恒例のイベントになりつつある「生わかめまつり」。時期的にも旬な季節であり、獲れたての「生わかめ」を求め、販売前から多くのお客さんと漁港は賑わっていました。



3

4. 同時に開催された「生わかめまつり」。販売だけでなく、試食用意されていました。色々な食べ方があるみたいですが、シンプルにポン酢で食べるのも美味しかったです。どんどん生わかめファンが増えていきそう。



4



5

5. 年に1回開催している「えぼし岩周遊船」。茅ヶ崎のシンボリックな象徴である「えぼし岩」を間近で見れるとあって、市内外から多くの方が足を運びます。なかなか乗る機会のない漁船に乗れるのも魅力的です。

茅ヶ崎市漁業協同組合

〒253-0061 茅ヶ崎市南湖6-12988
TEL : 0467-82-3025

【組合事務所】

時間 : 9:00~16:00

定休日 : 土日・祝日・年末年始

※釣り船・渡し船は原則第1・3火曜日

駐車場 : 有

考えています。
今まで、釣り船や直営店など先進的な取り組みを行ってきた茅ヶ崎漁協。網や養殖、釣り船など、多角的な漁業を組合一丸となつて進めていきたいと

った時代があり、副業でシラスをはじめとする新鮮な魚を提供するようになりました。遠くから来る常連客も多いそうです。
湘南の海は美しいだけでなく、豊かな漁場でもあります。獲れる魚は色々あり、地引では、アジ・サバ・シラスなど、刺し網では、ヒラメ・カサゴ・アマダイ、岩場にはイセエビ・サザエなども獲れます。特にイセエビやサザエは大きいのがいるそうです。
養殖を始めた茅ヶ崎産のワカメは品質がよく人気も出てきています。えぼし岩周遊船と同時に開催する「生わかめまつり」も大人気で、あつという間に売り切れになるそうです。



1

1. 休日のえぼし岩は釣り人でいっぱい!えぼし岩の周囲には、大小の磯が多々点在しており、絶好の磯釣りスポットとしても有名です。茅ヶ崎漁港から数十分の渡航で、自分の好きな磯に降りれて釣りを楽めるのも◎。

“多角的に取り組んでいく茅ヶ崎の漁協”

2. 茅ヶ崎の漁業を支えてきた釣り船。仲間と一緒に楽しいひと時を満喫したお客さんは、満足そうに陸へ戻ってきました。天気の良い日は、沖へ出ると気分もリフレッシュして、気持ち良さそうです!



2



は、シラスを獲っても売る先が少なからず、30年以上来てくれるお客さんもいて、陸に戻つてからの話も楽しく、そのひと時がなによりリラックスできる時間だと伺いました。
漁協組合員の中には、直営店を持っている方も多くいます。そのきっかけは、シラスを獲っても売る先が少な

大山のてっぺんに雲がかかると、風が強くなる。富士山に雲が見えなくなると、特に雲の流れに注意をする。漁師は自然との対話がとても大切です。昭和32年から漁師をやっている米山さんはそう語ります。
米山さんが漁師を始めた頃は、今より漁獲も少なく、価格も安く、漁業で生計をたてるのは大変な時代でした。その頃から、沖右衛門丸とおだか丸が茅ヶ崎で伝馬船と機械船をやとい、釣り船をやっていました。そして、昭和40年代の釣りブームに乗って、みんな「釣り船」を始めたそうです。当時はシロギス釣りなどが盛んでした。
釣り船を始めた頃は、釣れなくてお客さんに怒られたこともあったそうですが、長年の努力により、ほとんど外す事はなくなったそうです。釣りの成果が人気を左右するため、潮の流れを読み取り、よりよい棚(魚が集まる場所)を見つけることが重要なのだそう。
今では、30年以上来てくれるお客さんもいて、陸に戻つてからの話も楽しく、そのひと時がなによりリラックスできる時間だと伺いました。

茅ヶ崎ブランドアップ戦略策定業務 フリーペーパー

平成24年（2012年） 3月発行

発行 茅ヶ崎市 編集 ランドブレイン株式会社

問合 経済部産業振興課

〒253-8686

神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目1番1号

電話 0467-82-1111（代表）

FAX 0467-89-2916

ホームページ <http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp>